

支出負担行為担当官
防衛省情報本部総務部長

公 告

下記により制限付一般競争入札を実施するので、入札及び契約心得を熟知の上、参加されたい。

1 競争に付する事項

件 名：脅威評価分析官の養成における民間力の活用に関する調査研究
要 求 番 号：分-08-57
規 格：仕様書のとおり
履行期間（履行期限）：契約締結日～令和9年1月31日
履 行 場 所：情報本部（市ヶ谷）及び契約相手方施設内
備 考：税抜（8その他（3）イによる）

2 競争参加資格

- (1) 予算決算及び会計令第70条に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。
- (3) 防衛省競争参加資格（令和7・8・9年度の全省庁統一資格）の有資格者で「役務の提供A、B又はC」の等級に格付されている者であること。
- (4) 格付けされている令和7・8・9年度防衛省競争参加資格（全省庁統一資格）の等級にかかわらず、防衛省所管契約事務取扱細則（平成18年防衛庁訓令第108号）第18条第4項各号のいずれかに該当する者（具体的には、別紙ア～キのいずれかに該当する者）であること。なお、要件に該当する者で入札に参加しようとする者については、8（1）の期日までに、別紙ア～キのいずれかを証明する書類を9の部署へ提出すること。
- (5) 契約担当官等（他省庁含む）から指名停止等の措置を受けている期間中の者でないこと。
- (6) 防衛省として原価計算システムの適正性を確認できない状態にある者でないこと。
- (7) 現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であつて、該当者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について契約を行おうとする者で無いこと。
- (8) 「会社更生法（平成14年法律第154号）」による更生手続開始又は、「民事再生法（平成11年法律第225号）」による再生手続開始を申立てられていない者、但し更生手続開始の決定又は、再生手続開始の決定を受けた者で、以下の①から③の書類をすべて提出した者を除く。
 - ①更正手続開始決定書又は再生手続開始決定書（コピー可）
 - ②許可決定に伴い定款、役員等に変更等があった場合にはそれを証明する書類（コピー可）
 - ③上記②に伴う競争参加資格審査申請書変更届
- (9) 都道府県警察から暴力団関係者として排除するよう要請があり、当該状態が継続する有資格業者でないこと。
- (10) 直近3年以内に、防衛省に対して数値解析技術等を用いたM&Sに関する分析手法及びM&Sを活用した業務体制の検討・提案の実績を有する。
- (11) 複数の防衛装備品の機能・性能推算に関する支援実績を有しており、航空機、自衛隊プラットフォーム、情報通信装備品等を含む幅広い装備品に関する技術動向調査の実績を有する。
- (12) レーダー、センサー、戦闘機及びミサイルを含む複数の防衛装備品の機能・性能の分析手法の検討・提案の実績を有する。
- (13) 海外拠点を複数有し、複数企業・官公庁に対し、人材育成に係る調査・支援役務の契約実績を有する。
- (14) 防衛省における先端技術に関する人材育成戦略策定及び実行支援の実績を有する。
- (15) 直近3年以内に防衛省内の人事分野における制度改定等の支援を行った実績を有する（下請けとしての実績は含めないものとする）。
- (16) 従業員数1万人以上の官公庁又は民間企業における人材戦略策定及び実行支援の実績を3件以上有する（下請けとしての実績は含めないものとする）。
- (17) 業務従事者が他の手持ち業務等の関係において履行に必要な業務所要に対応できる態勢にある。

3 契約条項を示す場所

防衛省情報本部総務部会計課（東京都新宿区市谷本村町5-1）

4 入札会場・日時

- (1) 入札会場：E2棟5階 情報本部入札室
- (2) 入札日時：令和8年8月21日（金） 14時30分

5 保証金に関する事項

- (1) 入札保証金：免除（但し、落札者が契約を締結しない場合は、入札金額の5%の額を違約金として現金徴収する。）
- (2) 契約保証金：免除

6 入札の無効：本公告2項に示す参加資格が無い者の入札又は入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

7 契約書作成の要否：要

8 その他

- (1) 入札者に要求される事項
この制限付一般競争入札に参加を希望する者は、入札説明書に定める書類を提出すること。
提出期限：令和8年7月17日（金）12時00分
- (2) 適用する契約条項等
 - ・調査研究契約特別条項
 - ・暴力団排除に関する特約条項
 - ・談合等の不正行為に関する特約条項
 - ・装備品等及び役務の調達における情報セキュリティの確保に関する特約条項

(3) 落札者の決定方法：

- ア 予算決算及び会計令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の範囲内であり、入札書の最低価格の入札書を提出した者で、かつ、有効な入札を行ったものを落札者とする。
- イ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額をもって落札価格とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の100/110に相当する金額を入札書に記載すること。
- ウ 予定価格の範囲内での応札がある場合でも、予算決算及び会計令第86条に基づき、落札を保留して最低入札価格提示者（総合評価札方式の場合は評価値が最も高い者）に対して低入札価格調査を実施する場合がある。対象者は調査に対して下表の資料を提出する等、協力しなければならない。なお、積算資料等の提出・説明に応じない場合又は不十分な場合には「契約の内容に適合した履行がされないおそれがある」として落札者としがない場合がある。

提出資料	細部内容
積算資料等の提出	○ 当該価格での入札理由 ○ 入札価格の適切性（入札価格の内訳含む。） ○ 資機材及び施設設備の保有状況 ○ 技術者等の配置見通し ○ 現行の他契約の受注状況と技術者等の配置状況 ○ 過去に受注した同種契約の履行状況 ○ 経営状況及び財務状況 ※ 積算資料等の提出に応じない場合又は不十分な場合には、その理由を説明できる資料

- (4) 端数処理：入札書に記載された金額の110/100に相当する金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとし、当該端数金額を切り捨てた後に得られる金額をもって、申込みがあったものとする。
- (5) 下請負：現に指名停止を受けている者の下請負については、原則として認めないものとする。ただし、下請負を行うことが真にやむを得ないと認められる場合には、この限りでない。
- (6) 郵便入札等：入札時間までに入札会場へ到着したものに限る。
- (7) 仕様書等：仕様書については、9に示す照会先に問い合わせること。
- (8) 入札に関する条件 仕様書第2.4.2項で定める業務従事者に求める基準等及び5.3項 a) から c) までに定める情報保全に係る履行体制に関する資料を提出し、適合すると認められること。（提出期限：令和8年7月17日（金）12時00分。必要に応じ追加資料を求めることがある。）
- 9 本公告に関する照会先
東京都新宿区市谷本村町5-1 防衛省情報本部総務部会計課 担当：第5契約係
TEL 03-3268-3111（内線）31772
メール dih-kaikei@ext.dih.mod.go.jp（契約係共用）

ア 当該入札に係る役務と同等以上の仕様の役務を実施した実績等を証明できる者

イ 資格審査の統一基準により算定された総合審査数値に以下の技術力の評価の数値を加算した場合に、当該入札に係る等級に相当する数値となる者

項 目	基 準	数 値
入札物品等（訓令第１８条第４項に規定する契約の対象となる物品又は役務をいう。以下同じ）に関連する特許保有件数	３件以上	１５
	２件	１０
	１件	５
入札物品の製造等（訓令第１８条第４項に規定する契約の対象となる物品の製造又は役務の提供等をいう。以下同じ）に携わる技術士資格保有者数	９人以上	１５
	７～８人	１２
	５～６人	９
	３～４人	６
	１～２人	３
入札物品の製造等に携わる技能認定者数（特級、一級、単一級）	１１人以上	６
	９～１０人	５
	７～８人	４
	５～６人	３
	３～４人	２
	１～２人	１

注：１ 特許には、海外で取得したものを含む。

２ 技術士には、技術士と同等以上の科学技術に関する外国の資格のうち文部科学省令で定めるものを有する者であって、技術士の業務を行うのに必要な相当の知識及び能力を有すると文部科学大臣が認めたものを含む。

ウ ＳＢＩＲ制度の特定新技術補助金等の交付先中小企業者等であり、当該入札に係る物品又は役務に関する分野における技術力を証明できる者

エ 株式会社産業革新投資機構、独立行政法人中小企業基盤整備機構、株式会社地域経済活性化支援機構、株式会社農林漁業成長産業化支援機構、株式会社民間資金等活用事業推進機構、官民イノベーションプログラム、株式会社海外需要開拓支援機構、一般社団法人環境不動産普及促進機構における耐震・環境不動産形成促進事業、株式会社日本政策投資銀行における特定投資業務、株式会社海外交通・都市開発事業支援機構、国立研究開発法人科学技術振興機構、株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構、一般社団法人グリーンファイナンス推進機構における地域脱炭素投資促進ファンド事業及び株式会社脱炭素化支援機構の支援対象事業者又は当該支援対象事業者の出資先事業者であり、当該入札に係る物品又は役務に関する分野における技術力を証明できる者

オ 国立研究開発法人（科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律（平成２０年法律第６３号）第２条第９項に規定する研究開発法人のうち、同法別表第３に掲げるものをいう。）が同法第３４条の６第１項の規定により行う出資のうち、金銭出資の出資先事業者又は当該出資先事業者の出資先事業者であり、当該入札に係る物品又は役務に関する分野における技術力を証明できる者

カ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構による「創業ベンチャーエコシステム強化事業（ベンチャーキャピタルの認定）」又は国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構による「研究開発型スタートアップ支援事業（ベンチャーキャピタル等の認定）」において採択された者の出資先事業者であり、当該競争に係る物品又は役務に関する分野における技術力を証明できる者

キ グローバルに活躍するスタートアップを創出するための官民による集中プログラム（Ｊ－Ｓｔａｒｔｕｐ又はＪ－Ｓｔａｒｔｕｐ地域版）に選定された事業者であり、当該入札に係る物品又は役務に関する分野における技術力を証明できる者

入札説明書

(防衛省情本契第126号 令和8年7月1日)

入札に参加を希望する者は、下記資料の提出をお願いします。

記

1. 提出期限：令和8年7月17日（金）12時00分

2. 提出先：防衛省情報本部総務部会計課

3. 提出資料

(1) 資格審査結果通知書（写）（提出部数：1部）

(2) 公告第2項競争参加資格に係る以下の事項を証明する資料（提出部数：2部）

- ① 直近3年以内に、防衛省に対して数値解析技術等を用いたM&Sに関する分析手法及びM&Sを活用した業務体制の検討・提案の実績を有する。
- ② 複数の防衛装備品の機能・性能推算に関する支援実績を有しており、航空機、自衛隊プラットフォーム、情報通信装備品等を含む幅広い装備品に関する技術動向調査の実績を有する。
- ③ レーダー、センサー、戦闘機及びミサイルを含む複数の防衛装備品の機能・性能の分析手法の検討・提案の実績を有する。
- ④ 海外拠点を複数有し、複数企業・官公庁に対し、人材育成に係る調査・支援役務の契約実績を有する。
- ⑤ 防衛省における先端技術に関する人材育成戦略策定及び実行支援の実績を有する。
- ⑥ 直近3年以内に防衛省内の人事分野における制度改定等の支援を行った実績を有する（下請けとしての実績は含めないものとする）。
- ⑦ 従業員数1万人以上の官公庁又は民間企業における人材戦略策定及び実行支援の実績を3件以上有する（下請けとしての実績は含めないものとする）。
- ⑧ 業務従事者が他の手持ち業務等の関係において履行に必要な業務所要に対応できる態勢にある。（組織図及び実施計画）

(3) 公告第8項その他（8）入札に関する条件に記載されている業務従事者に求める基準等及び情報保全に係る履行体制に関する資料（提出部数：2部）

(4) 参考見積書（原価計算のため、ご協力をお願いいたします。）（提出部数：1部）

4. 提出書類に関する官側からの質問

提出書類のうち（2）については官側から内容について質問をすることがあります。この場合、別に通知する期限までに書面にてご回答をお願いいたします。（時間厳守）

5. 委任状について

代理人により入札に参加する場合は、入札日の前日までに委任状の提出をお願い致します。

6. 問い合わせ先電話番号

（代表）03-3268-3111 （内線）31772